

いわゆる「新しいたばこ」に対する岡山大学の姿勢について

最近、煙の出ない、煙の見えにくい又は無煙のいわゆる「新しいたばこ」が販売され、従来のたばこよりも害が少ないと宣伝されています。

しかしながら、WHOをはじめ国際的な保健機関の多くが、その危険性に対して警告を発しているように、「新しいたばこ」に含まれるニコチン又は種々の発がん性物質は、使用者及び周囲の人々に危害を及ぼす可能性があります。

岡山大学では、平成26年4月から全学敷地内全面禁煙を実施しているところですが、従来のたばこと同様に、このたび、この「新しいたばこ」についても、全学敷地内全面禁煙の対象としました。

本学は、未成年の学生を含め、多くの人が集まる公共性の高い場であり、教育機関です。安全・安心、快適な教育研究環境を確保し、学生、教職員の健康増進を図るため、さらには、学生に喫煙習慣を身につけさせることなく社会に送り出したいと考えていますので、ご理解とご協力いただきますよう、よろしくお願いいたします。

※新しいたばこ：電子たばこ、非燃焼・加熱式たばこ、無煙たばこ（嗅ぎたばこ、噛みたばこ）